

登録コード:MH198400 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	選択
科目名	看護教育論【22M以降】 Nursing Education			
担当教員	浅野 美礼			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/4年 後期(前半) 月曜・4時限			
単位数、講義室	1単位	多目的講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH22カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		日本の看護基礎教育および継続教育において生じている課題（教育制度・能力開発・質保証等）を分析し、健康問題の解決に資する看護職の能力形成に向けて必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解できる。	
	文化の多様性を理解し、国際的視野に基づいた保健・医療活動の必要性とその方法を理解できる。		海外諸国の看護教育制度および高度実践看護職の養成の特徴を比較し、文化の多様性を踏まえた国際的視野に基づく看護人材育成の必要性と、その方法（制度・教育内容・キャリアパスの設計）について理解できる。	
	MH25カリ・保健・看護、MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		看護教育に関する基礎的・専門的知識（看護基礎教育、継続教育、カリキュラム構造、専門看護師・認定看護師等の養成、臨地実習指導者養成）を体系的に習得し、将来の臨床・教育・マネジメント等の多様な状況において活用できる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		変化し続ける社会における看護教育・看護人材育成の課題を、地域・国際的視点から科学的・倫理的・道徳的・創造的に捉え、課題克服や目標達成に向けた学修・能力開発を生涯にわたり継続するための自己のキャリアプランを構想できる。	
	キャリア			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	日本の看護教育について、学校教育制度、看護教育の歴史、海外諸国の看護教育制度の比較から、特徴や課題を学びます。また、看護職に求められる能力と看護継続教育について理解し、自分がそれらを身に着ける方法を考えます。 この授業は、1年次から3年次までに修得した専門科目の統合と応用に相当し、看護の卒前教育および卒後教育の目的と意義の理解を深めます。また卒後のキャリアプランの選択肢を提示するものでもあります。 本授業は、担当教員の医療施設や看護の教育現場における教育者および看護師としての実務経験を活かして講義を行います。			
授業計画	第1回（9月28日）日本の看護基礎教育：大学で看護学を学ぶ意義について 第2回（10月5日）日本の看護継続教育：看護師の資格取得後の能力開発について 第3回（10月14日）看護教育カリキュラムの構造について 第4回（10月19日）海外諸国の看護教育制度について 第5回（10月26日）海外の看護高度専門職の種類とその養成について 第6回（11月2日）日本の専門看護師と認定看護師の養成について 第7回（11月9日）看護臨地実習指導者の養成について 第8回（11月16日）自分のキャリアプランニングについて考える 【授業アンケートの実施】			
授業の進め方	毎回、異なるグループを組成し、講義とグループディスカッションを行います。グループディスカッションを円滑に進めるために重要なことは、提示されている資料を事前に読んでくることです。グループディスカッションでは、各人が積極的に発言すること、他者の発言を尊重することを通じて、自分の予習の理解度を深め、考えを発展させることを求めています。 毎回の授業終了後には、課題として当日のテーマについて考察したことを提出してもらいます。 最終回のあと、最終レポートを提出してもらいます。			
テキスト、教材、参考書	講義に用いる資料は、eALPSに掲示します。			
成績評価の方法	各回の課題の合計点を60点満点に換算したものと最終レポート40点を合計した100点満点で評価し、60点以上を合格とします。 最終レポートの提出は11月23日24:00とします。eALPSに提出してください。 ファイル名は、学籍番号（半角）スペース 氏名 としてください。 各回の課題として、授業のテーマにそってディスカッションした内容を踏まえ、自分の意見を報告してもらいます。最終レポートでは 自分が理想とする看護職になるためのキャリアプランを考え、報告してもらいます。			
成績評価の基準	・課題およびレポート 問題の設定が適切である、その問題の背景を説明できている、その問題にどのよう			

成績評価の基準	な課題があるのかを指摘できている、それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できている、そのうえで自分の見解を提示できている、加えるに、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」、からの5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」、4項目までできていれば「やや上にある（良）」、3項目までできていれば「水準にある（可）」 秀：100～90点、優：89～80点、良：79～70点、可：69～60点
事前事後学習の内容	本授業の単位習得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間15時間（2時間×7.5回）＋事前・事後学習30時間（4時間×7.5回）＝45時間 ・事前学習 eALPS上に提示された資料を精読し、わからない用語や概念等について調べておいてください。 ・事後学習 各回の課題として、ディスカッションの成果を踏まえて、小レポートを作成し提出してください。 関心を持ったキーワードや概念については関連する書籍を調べて読んでください。 以上の作業をふまえて、課題の成果を作成し提出してください。
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	社会に出る前に、自分が修めてきた看護学教育を振り返り、カリキュラムポリシーやディプロマポリシーと照らし合わせて自分の成長を評価してみましょう。 学んだことが自身のキャリアデザインと発展につながるように取り組んでもらいたいです。 質問への対応：浅野美礼 <millet@shinshu-u.ac.jp> オフィスアワー：随時対応しますが事前に連絡をください。 保健学科棟中校舎4階 浅野研究室